

カブトムシのお宿

2018年12月09日（日）9時30～11時30

猪高緑地 森の集会所 並びに カブトムシのお宿

今年も、名古屋市教育スポーツ協会（NESPA）主催のカブトムシのお宿のイベントを運営しました。

参加者は小学生21人、その親さんや兄弟が約20名、スタッフNESPA3名、名東自然倶楽部6名、総勢約50名のイベントとなりました。

森の集会所でカブトムシの一生の簡単な説明、外来種のカブトムシを飼っている場合は最後まで面倒を見て外に放さない事等の説明を行いました。

その後、カブトムシのお宿で堆肥となった落葉をかき分け、カブトムシの幼虫が眠っている様子を観察、一部掘りだし手のひらに乗せて観察して貰いました。



今年は少し小ぶりのカブトムシのお宿を増設しました。杭を打って半分位竹を入れた状態のお宿に竹を追加して、カブトムシのお宿を完成させました。



片方のお宿にはカブトムシの幼虫が少なく、しかし大きい幼虫が、もう一つのお宿には過密状態位に浅い所にカブトムシの幼虫が沢山いましたが、小さい個体でした。

カブトムシの少なかったお宿は駐車場から良く見えるので、幼虫を持って行った方がみえるのではないかと推察します。

二班に分かれて、森の集会所周辺の落葉を拾い、カブトムシの餌の確保と遊歩道の清掃を行いました。

猪高の竹で作った子供用の小さな熊手は狙い通り子供が使うには丁度良く、長い柄で顔をつくような危険性も無く、効率よく落ち葉を集める事が出来ました。

落葉は山盛りに入れても直ぐに凹んでしまうので、何度も押えて沈ませ、その後軽い低学年の子に乗ってもらい、その後高学年の子に乗ってもらい、最後はお楽しみの落葉のトランポリンを行いました。

落ち葉のベットでくつろぐ子もいました。幼児もお姉さんに手を取ってもらい落ち葉のトランポリンを楽しみました。

